



生徒らのメッセージが書かれた横断幕

令和元年度全国高等学校総合体育大会（南部九州総体2019）が、27年ぶりに宮崎県や鹿児島県などで開催されます。宮崎県は、昨年4月に県高校生活動推進委員会を発足。その委員長を務めているのが、都城工業高校の松尾宥希さんです。

県内6支部からなる同委員会は、各高校から選出された生徒らが、大会を盛り上げる推進員として、広報やPR活動を自ら企画・運営するものです。

松尾さんは、県委員会と、都城・北諸支部推進委員会の委員長を兼任。昨年は、開催地の愛知・岐阜県に委員会メンバーとして現地のおもてなしを視察しました。その経験を生かし、南部九州総体に

Smiling faces of miyakonojo 人の風景

向け、歓迎や激励の思いを込めたのぼり旗や横断幕を作成したり、テレビやラジオなどに出演したりして、大会の広報活動に取り組んできました。中でも、市内商業施設の街頭活動では、委員会メンバー発案の手作りクッキーを配るなど、工夫を凝らしながら広く市民に向けてPRしました。

「都城・北諸支部のメンバーで、多くの祭りやイベントなどに参加して大会のPRを行ったことが、一番楽しい思い出」と活動を振り返る松尾さん。活動と学校の試験が重なって、思うように勉強時間が取れなかったり、委員長として委員の意見の集約に苦労したりすることもありますが「何より、人と関わるのが楽しい」と満面の笑みを見せます。

中学生の頃、市内で開催されたイベントに初めてボランティアとして参加し、奉仕活動に強く興味を持つようになった松尾さんは、高校入学直後に同委員会のことを知り、すぐに立候補。「これまでの活動を通して、自身の成長はもちろん、仲間との絆が生まれた」と力を込めます。

7月下旬から約1カ月にわたって開催される南部九州総体。本市では、早水体育文化センターをメ

イン会場に、男女バレーボール競技と弓道競技が行われます。松尾さんから委員会メンバーは、市内で行われる大会期間中、都城駅前でエリアマップの配布や、会場の案内を行います。

「選手の皆さんが楽しんでプレーできる環境づくりのほか、都城を訪れる人々に満足してもらえよう、おもてなしを精一杯がんばりたい」と大会の成功に向けて、意気込んでいました。



令和元年度全国高等学校総合体育大会
（南部九州総体2019）
県高校生活動推進委員会委員長および
都城・北諸支部推進委員会委員長

松尾 宥希 さん
（都城工業高校2年）



南部九州総体2019の成功に向けた
高校生によるおもてなし大作戦!